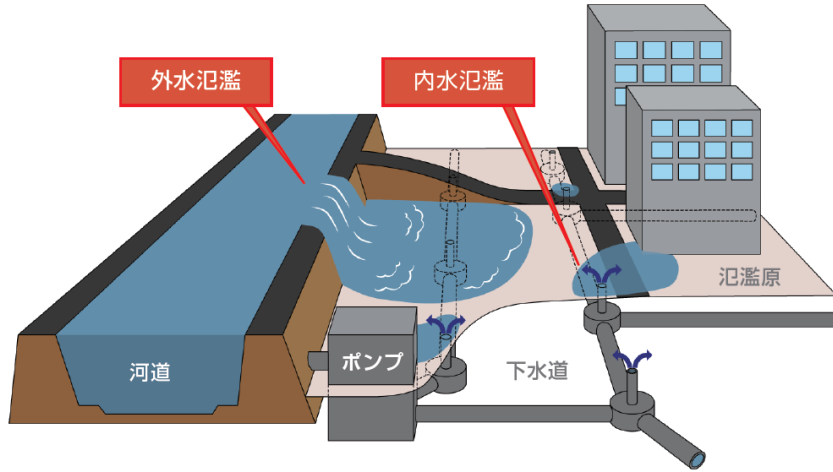


河川・下水道統合型氾濫解析モデル

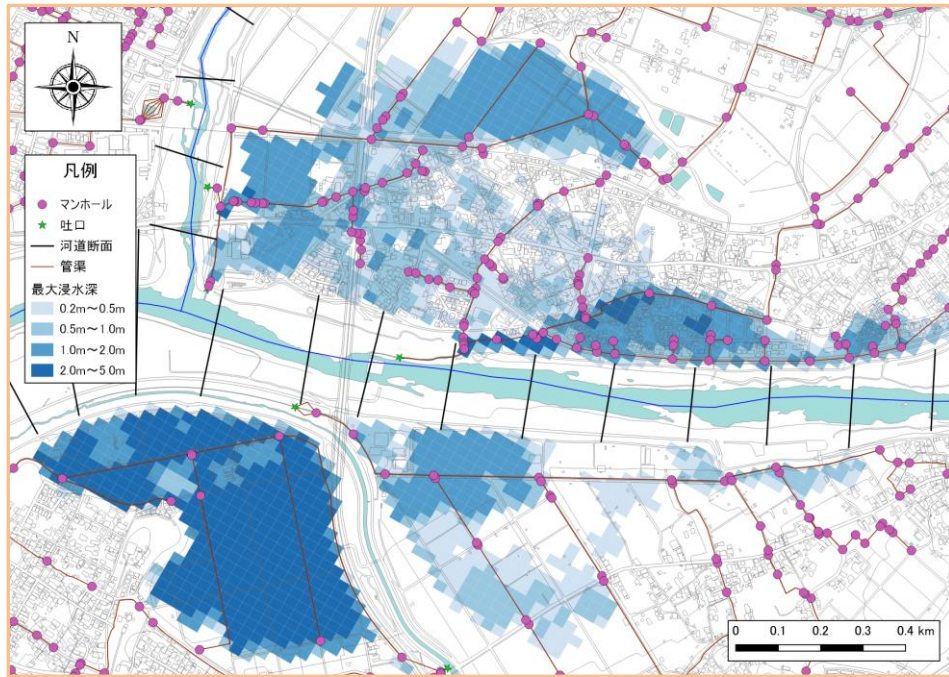


適用事例

- 都市型氾濫解析
- 外水・内水氾濫解析

特徴

- 下水道管路からの内水氾濫、河川からの外水氾濫を一つのモデルでシームレスに解析
- 浸水対策施設モデルなど、用途により各種モデルをカスタマイズ可能
- 複雑な下水道管網を正確かつ高速に計算
- 関連マニュアル（洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）、内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）、流出解析モデル活用マニュアル、都市域氾濫解析モデル活用ガイドライン（案）—都市浸水—、NILIM2.0 都市域氾濫解析モデル）



解析結果

降雨損失モデル	▶ 固定流出係数モデル ▶ Horton浸透モデル など	▶ f1-Resモデル
地表面流出モデル	▶ 合成合理式 ▶ 二重線形貯留法 など	▶ 非線形貯留法
下水道モデル	▶ 一次元不定流(Dynamic wave) ▶ 水理構造物(オリフィス、ゲート、堰)を考慮可能	▶ スロットモデルにより圧力流れを表現
河道モデル	▶ 一次元不定流(Dynamic wave) ▶ 水理構造物(水門、堰、伏越し)を考慮可能	▶ 横越流公式により氾濫流量を算定
氾濫原モデル	▶ 二次元不定流(Dynamic wave) ▶ 盛土構造物およびボックスカルバートを考慮可能 ▶ 排水機場及び水門等(水門・樋管・樋門)による排水を考慮可能	▶ 空隙率・透過率を設定可能
対策施設モデル	▶ 排水施設 ▶ 雨水貯留浸透施設 ▶ その他の施設のモデル化	▶ 調整池 ▶ ポンプ